

伊達宗行先生 追悼文

高梨弘毅

先端基礎研究センターの初代センター長である伊達宗行先生がお亡くなりになりました。享年94歳でした。伊達先生のご業績とお人柄を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

伊達先生は東北大学理学部をご卒業後、大阪大学理学部に移られ、教授、学部長を務められました。大阪大学ご退官と同時に日本原子力研究所（当時）に着任され、当センターの設立と発展に多大なるご貢献をされました。

個人的なことになりますが、伊達先生と私の最初の出会いは、私がまだ東京大学の学生だった頃、大阪大学の強磁場施設に実験に行ったときに遡ります。伊達先生は当時既に日本の物性物理学を代表する大先生で、私からは仰ぎ見る存在であり、緊張してお話をしたことを懐かしく思い出します。40年以上の時を経て、私は現在伊達先生の作られたセンターのセンター長を仰せつかることとなり、天国の伊達先生から「しっかりやれよ！」と叱咤激励されているようです。

伊達先生のご逝去は、当センターにとって、まだ日本のアカデミアにとって大きな損失であり、一つの時代の終わりを感じざるを得ません。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。